

エミレーツ航空 クリスティアーノ・ロナウド氏とペレ氏の夢の競演動画を公開 ～ ペレ氏に続き、C.ロナウド氏を国際親善大使に任命 ～

エミレーツ航空（本社：アラブ首長国連邦・ドバイ、会長：シェイク・アハメッド・ビン・サイード・アルマクトゥーム殿下、以下エミレーツ）は、FIFA 公式ワールドワイド・パートナーとして、今夏開催予定の2014FIFA ワールドカップ™ブラジル大会に伴い、ポルトガル代表チームのキャプテンを務め、2013年FIFA バロンドールを受賞したクリスティアーノ・ロナウド氏（以下、C・ロナウド氏）を新たに国際親善大使に任命し、既に同社の国際親善大使に選任されているペレ氏との競演による動画を公開しました。



【画像】C・ロナウド氏とペレ氏による、エミレーツ A380 型機の機内ラウンジでの競演動画トップイメージ

URL: <http://youtu.be/OFbryriZ3is>

本動画は、世界中で展開中の新デジタルキャンペーンとして公開されており、エミレーツのフラッグシップ機である、エアバス A380 型機の機内ラウンジを舞台に、2人のサッカー界のスーパースターが共演します。エミレーツのエアバス A380 型機 2階後方に設置されている機内ラウンジで寛ぐC・ロナウド氏とペレ氏を、サッカーファンが見つけたことから始まる60秒のドラマで、機内での乗客同士の交流によって生まれるサッカーを通じたつながりや、サッカーファンにとってのヒーローは世代によって異なり、誰が史上最高のサッカー選手かの意見は大きく分かれるという現実を、絶妙に表現しています。今夏のワールドカップ開催中も、それがC・ロナウド氏なのか、ペレ氏なのか、あるいは他の選手なのかという議論が続くことでしょう。

ペレ氏の母国であるブラジルで、世界で最も注目されるスポーツイベントであるワールドカップが開催されるまで約2ヶ月となりました。FIFA 最優秀選手賞に2回選出され、エミレーツがスポンサーを務めるレアル・マドリードに所属するC・ロナウド氏は、ポルトガル代表チームを統率して、選手としては3度目、キャプテンとしては2度目の出場を果たします。2003年に代表チームに初選出されて以降、ポルトガル人選手としては最年少での出場試合数となる100試合以上に出場した記録を誇り、最多得点記録も更新しています。

エミレーツ航空コーポレート・コミュニケーションズ・ブランド統括上級副社長のブートロス・ブートロス氏は、次のように述べています。「C・ロナウド氏とペレ氏は、言うまでもなく大変有名な人物で、両氏の名前と顔はサッカーにおける代名詞であるばかりでなく、サッカー場の内外を問わず人々を結びつける力があります。エミレーツは、毎年200以上のスポーツイベントに参加しファンとお客様に特別な体験を提

供しています。今回のキャンペーンは、人を運ぶだけにとどまらず、スポーツと文化を通じて人々を結びつけるという、エミレーツの理念を反映するものです。C.ロナウド氏は、現在のサッカーファンの象徴的存在であり、現役最優秀選手の一人として広く認められています。彼は、キャリアを通じて数々の記録を塗り替え、多くの賞を受賞しており才能にあふれていますが、現在の栄光に満足することなく、新たな境地を切り拓くため、懸命に努力を続けています。このような精神と、世界中のファンに勇気を与える能力こそ、エミレーツがC・ロナウド氏をパートナーとして選んだ理由です。」

今年1月、エミレーツは、ワールドカップで3回の優勝経験を持つペレ氏を国際親善大使に就任することを発表しました。エミレーツは、2006年ドイツ大会でフランツ・ベッケンバウアー氏と協力して以来、最も輝かしい実績を誇る選手と協力するという方針を踏襲しており、C・ロナウド氏は、ペレ氏と並んで国際親善大使として適任です。

エミレーツは、2006年以降FIFA公式パートナーを務め、FIFA女子ワールドカップ、FIFA U20およびU17ワールドカップ、そして2014年ブラジル大会を含むFIFAワールドカップをサポートしています。同社は、ドバイからリオデジャネイロおよびサンパウロに毎日1便運行しており、1カ月間の大会開催期間中に1万8,000人以上の乗客を運ぶことを見込んでいます。ドバイ経由でブラジルや南米大陸の都市と世界を結び、さらにアジア、オーストラリア、中東、アフリカへの商業と観光を促進しています。

- エミレーツ航空 国際親善大使 (英語のみ) www.emirates.com/alltimegreats
- エミレーツ航空 ホームページ (日本語) www.emirates.com/jp/japanese/
- エミレーツ航空 フェイスブックページ (英語のみ) www.facebook.com/emirates

【エミレーツ航空について】

エミレーツは、ドバイを本拠地に世界80カ国、142都市の土地とお客様をつないでいる。数多くの国際的なスポーツ大会や文化イベントのスポンサーを務めるエアラインブランドとして世界で認知されている。

2002年10月1日の関西国際空港・ドバイ間の直行便運航を開始以来、ドバイと日本間の貿易や観光の促進に貢献。その後2010年3月28日に成田国際空港・ドバイ間の直行便を就航、2013年6月4日に日本3路線目となる東京国際空港(羽田)・ドバイ間の直行便を就航した。現在は関空線、成田線、羽田線それぞれ毎日1便、関空・成田便ではB777-300ER、羽田便はB777-200LRで運航している。なお、貨物部門であるエミレーツ・スカイカーゴは、2012年9月7日に、貨物専用便をドバイ-関西-仁川間に就航した。

創業は1985年。アラブ首長国連邦(UAE)のドバイ政府が100%所有しており、25期連続黒字を達成。2013年3月期決算(2012年4月1日~2013年3月31日)において、グループ売上高は前年度比17%増の211億米ドル、純利益は前年度比34%増となる8億4,500万米ドルを計上。航空部門の売上高は前年度比17%増の199億米ドル、純利益は前年度比52%増の6億2,200万米ドルを計上した。

現在の保有機は217機、エアバスA380およびボーイング777の世界最大オペレーターである。平均機齢は72ヶ月(6年)というエアライン業界平均137ヶ月(11年5か月)を65ヶ月(5年5か月)下回る若いフリートを運用している。2013年11月のドバイエアショーでは、エアバスA380型機50機を230億米ドルで、ボーイング777X型機150機を760億米ドルで追加発注し、業界の歴史における最高額の発注を記録した。これにより、同社が保有・発注済のエアバスA380型機は140機、ボーイング777型機は196機、ボーイング777X型機は150機に達した。現在、受領待ちの航空機は、エアバスA380型機93機、エアバスA350型機70機、ボーイング777X型機150機、ボーイング777-300ER型機59機、ボーイング貨物機3機の合計375機、1620億米ドル以上に相当する。

2013年の新規就航は2月6日にワルシャワ、3月1日にアルジェ、6月3日に東京・羽田、9月4日にストックホルム、および初の太平洋横断路線ミラノーニューヨーク便、10月27日にコナクリ、11月5日にシアールコート、12月4日にカブル。2014年は1月16日にキエフ、2月10日に台北、3月10日にボストンに就航し、今後8月1日にアブジャ・カノ、8月5日にシカゴ、9月2日にオスロへの就航を予定している。

2013年エミレーツは世界最大の乗客アンケート調査を行う英国のスカイトラックス社より「ワールド・ベスト・エアライン」を受賞。世界的に権威ある賞を様々な分野で500以上受賞、130カ国以上から集まる客室乗務員のきめ細やかなサービスを提供している。

地上では、旅行代理店であるエミレーツ・ホリデーやアラビアン・アドベンチャーズなどのグループ会社が、毎年数多くのお客様をつなぐサービス提供をしている。

■報道機関からのお問い合わせ先

エミレーツ航空広報事務局

MSLGROUP in JAPAN

(エムエスエルグループインジャパン)

TEL : 03-5759-5837 FAX : 03-5719-8919

Email : emirates@msljapan.com

担当 : 大澄由貴、池井沙織

■ご予約お問い合わせ先

エミレーツ航空 コールセンター

TEL: 03-6743-4567 (全国共通番号)

■URL: www.emirates.com/jp